

関西支部奨励賞

年度	部門	受賞者	所属	演題
2019	1	葉山 登	武庫川女大薬	多機能性ボロン酸触媒による不斉共役付加反応の開発とキラルスイッチ反応への展開
2019	1	松岡 純平	京大院薬・ケモゲノミクス・薬品有機製造学	dictyodendrin類の多様性志向型全合成
2019	2	緒方 文彦	近畿大薬・公衆衛生学研究室	リン酸イオンと層状複水酸化物との相互作用の解明
2019	2	森本 和志	京大院医・分子細胞情報学	プロスタノイド受容体活性化機構の解明
2019	3	肱岡 雅宣	立命館大薬・薬効解析科学研究室	ロイコトリエンB4およびその受容体を標的とした脳内出血治療薬の創薬研究
2019	3	小池 敦資	大阪薬大・病態生化学研究室	マクロファージにおける炎症誘導性細胞死の分子機構の解明
2019	3	間下 雅士	同志社女大薬・薬理学研究室	免疫細胞に発現する $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体のT細胞分化に及ぼす影響の解明
2019	4	池田 義人	神戸薬大・医薬細胞生物学研究室	タウロヒオデオキシコール酸が有する胆汁中リン脂質排出促進作用とその機序 -胆汁酸肝組織障害に対する治療薬開発を目指したABCB4活性化分子の探索-
2018	1	隅田 有人	理研・生命機能科学研究センター	再利用可能な有機ホウ素化合物ボラセンを用いた選択的有機基転移剤の開発
2018	1	山口 卓男	阪大院薬・生物有機化学分野	薬物標的タンパク質の同定を志向した新規アフィニティーラベル化法の開発
2018	1	安井 基博	京大院薬・薬品分子化学分野	全シス置換シクロプロパン構築法の確立とAvenaolの全合成
2018	2	近藤 直哉	大阪薬大・生体分析学研究室	疾患におけるマトリックスメタロプロテアーゼ発現のインビボ定量法構築を目的とした核医学イメージングプローブの開発
2018	3	原 雄大	近畿大薬・細胞生物学研究室	ドパミン神経系賦活化薬の慢性投与は自閉症モデルマウスの行動異常を改善する
2018	3	勢力 薫	阪大・未来戦略機構第二部門	高精細全脳イメージング技術FASTの開発と精神疾患モデルマウスの病態解析
2018	4	三谷 成二	阪大院薬・分子生物学分野	ヒトiPS細胞からzone特異的肝細胞の作製 -薬物性肝障害の効率的な予測に向けて-
2018	4	宗 可奈子	京大院薬・統合薬学教育開発センター	しびれ発症におけるTRPA1の関与とそのメカニズム解析
2017	1	池田 朱里	Univ.at Albany	新規3,3,3-trifluoropropenyl化剤の開発 -創薬を指向した医薬品分子のTFPE化とその効果-

関西支部奨励賞

2017	2	門田 和紀	大阪薬大・製剤設計学研究室	噴霧乾燥法による糖を基剤とした吸入粉末製剤のための中空粒子設計
2017	3	佐藤 亮介	近畿大薬・分子医療・ゲノム創薬学研究室	RNA結合タンパク質の時間・空間的制御を介したMAPKシグナル調節機構—RNA結合タンパク質の局在制御機構と創薬への応用—
2017	4	田中 晶子	京都薬大	処方最適化による粉末製剤化医薬品の経鼻吸収性の改善 —製剤添加物による吸収性の精密制御の可能性—
2017	4	志水 陽一	京大病院・放射線部	質量イメージングによる低酸素領域集積性ニトロイミダゾール薬剤の集積機序の解明
2017	4	椿 正寛	近畿大薬・薬物治療学研究室	慢性骨髄性白血病でのBCR-ABL阻害薬耐性にMET/ERK及びMET/JNK経路活性化が関与する
2016	1	高木 晃	阪大院薬	ベンザインの効率的発生法の開発
2016	2	渡邊 裕之	京大院薬	アルツハイマー病脳の $\beta$ アミロイド、タウの生体イメージングに資する放射性プローブの開発
2016	3	立花 雅史	阪大院薬・薬剤学分野	HMGB1-TLR4シグナルによる骨髄由来免疫抑制細胞の機能制御
2016	3	道永 昌太郎	大阪大谷大薬・薬理学講座	流体衝撃による脳傷害後のマウス脳浮腫に対するエンドセリンETB受容体遮断薬の効果—血管透過性亢進因子VEGF-Aの関与—
2016	4	中川 俊作	京大病院・薬剤部	慢性腎臓病に伴う尿細管障害および間質線維化のバイオマーカーの同定
2016	4	亀井 敬泰	神戸学院大薬・薬物送達システム学研究室	細胞膜透過ペプチドを基盤とするペプチド医薬のNose-to-Brain送達法の開発と認知症治療への応用
2015	1	上田 善弘	京大化研	最終段階位置選択的アシル化に基づく配糖体天然物の全合成
2015	1	山岡 庸介	京大院薬	形式的[2+2]環化反応を用いた多環芳香族炭化水素の合成とその応用
2015	2	長井 紀章	近畿大薬・製剤学研究室	薬物ナノ結晶を用いた新規点眼システムの確立と緑内障治療への応用
2015	3	中本 賀寿夫	神戸学院大薬・臨床薬学研究室	脳内長鎖脂肪酸受容体 GPR40/FFA1 シグナルを介した新規疼痛制御機構
2015	3	永安 一樹	阪大院薬・附属創薬センター	細胞種特異的レンチウイルスベクターを用いたセロトニン神経機能の光遺伝学的解析

関西支部奨励賞

2015	3	藤井 正徳	京都薬大・薬理学分野	ヘアレスマウスにおける食餌誘発アトピー性皮膚炎の発症要因の解明
2015	4	佐野 紘平	京大病院・放射線部	腫瘍発現分子のインビボ磁気共鳴／光音響デュアルイメージングを 目指した酸化鉄粒子を基盤とする分子プローブの創製
2015	4	町谷 充洋	阪大院薬・分子生物学分野	アデノウイルス由来小分子RNAの機能特性に立脚した遺伝子治療用 組み換えウイルスの開発
2014	1	樽井 敦	摂南大薬・薬化学研究室	多置換フルオロ-β-ラクタム類の立体選択的合成と含フッ素β-アミ ノ酸骨格への変換
2014	1	吉岡 英斗	兵庫医療大薬・医療薬学科	ベンザインとホルムアミドとの[2+2]型反応を基盤とした多成分連結反 応
2014	2	尾江 悟	京大院薬・病態機能分析学教室	光音響イメージング法による生体がん組織の時空間的機能分析を可 能とするプローブの設計・開発
2014	3	高山 和雄	阪大院薬・分子生物化学分野	ヒト多能性幹細胞由来肝細胞を用いた次世代型創薬の実現を目指し た基盤技術創成
2014	3	樋野 展正	阪大院薬・生命情報解析学分野	生理的なタンパク質間相互作用の解析を可能にする細胞内光クロス リンク技術
2014	3	山口 賀章	京大院薬・システムバイオロジー分野	時差消失マウスの開発による概日リズムの頑強性を担う分子神経機 構の解明
2014	4	清水 かほり	大阪大谷大薬・生化学講座	マイクロRNAを利用してウイルス遺伝子の発現を抑制可能な新規アデ ノウイルスベクターの開発と機能評価
2014	4	西田 健太郎	京都薬大・衛生化学分野	Oxaliplatin誘発性味覚障害発症メカニズムの解析 —味覚感受性、味 受容体の発現及び味細胞数の統合的解析—
2013	1	中川 治	大阪薬大・機能分子創薬化学研究室	遺伝子の損傷診断・発現抑制・デリバリーを統合的に機能化する人工 核酸の開発
2013	2	河野 健一	京大院薬・薬品機能解析学分野	新規小分子ラベル法とin-cell FRETを用いた膜タンパク質の会合状態 の定量的解析
2013	2	濱 進	京都薬大・薬品物理化学分野	抗癌剤の物性に着目した癌治療用新規ナノキャリアーの創製 —多面 的な抗癌作用を有するビタミンE誘導体を用いた抗癌ナノ粒子の構築 —
2013	3	木村 郁夫	京大院薬・ゲノム創薬科学分野	腸内細菌叢を介した食事性栄養認識受容体による宿主エネルギー恒 常性維持機構

関西支部奨励賞

2013	3	原田 慎一	神戸学院大・臨床薬学研究室	脳虚血性耐糖能異常に起因する神経障害発現に対する orexin-A の中枢末梢臓器間連関機構を介した役割
2013	4	川瀬 篤史	近畿大薬・生物薬剤学研究室	炎症時におけるトランスポーター発現変動とERMタンパク質の関連
2013	4	東阪 和馬	阪大院薬・毒性学分野	薬学新素材としてのナノマテリアルの生体防御機構に及ぼす影響解析
2012	1	古徳 直之	阪大院薬・天然物化学分野	Cortistatin Aをモチーフとする抗腫瘍活性リード化合物の創製
2012	1	原田 慎吾	京大院薬・薬品合成化学分野	[1+2+n]-環化反応による光学活性含窒素ヘテロ環の合成
2012	1	張 功幸	阪大院薬・生物有機化学分野	伸長後修飾法を基盤とした標的配列拡張型三重鎖核酸形成オリゴヌクレオチドの開発
2012	2	萩森 政頼	神戸薬大・薬品物理化学研究室	生体内亜鉛イオンの解析を目的とした蛍光プローブの開発
2012	3	石原 慶一	京都薬大・病態生化学分野	ダウン症モデルマウス胎児脳における変動分子の網羅的解析
2012	3	泉 安彦	京大院薬・薬品作用解析学分野	Nrf2-ARE経路活性化を介したドパミン神経保護作用の機序解析およびその活性化物質の探索
2012	4	勝見 英正	京都薬大・薬剤学分野	骨粗鬆症治療薬ビスホスホネートの次世代型経皮吸収剤の開発
2012	4	中瀬 朋夏	武庫川女大薬・薬剤学研究室	高濃度グルコース環境が乳がん細胞の動態に与える影響と亜鉛トランスポーターの役割
2011	1	中村 誠宏	京都薬大・生薬学分野	薬食同源の視点から薬用食品の生体機能成分の探索
2011	1	吉村 智之	京大化研・精密有機合成化学	キラルエノラートの分子内共役付加を利用する多置換β-ラクタムの不斉合成
2011	2	運 敬太	京大院薬・薬品動態制御学分野	φC31インテグラーゼを利用した超音波応答性マンノース修飾リポソームによる遺伝子発現の長期持続化
2011	2	山本 佐知雄	近畿大薬・薬品分析学研究室	光重合性アクリルアミドを利用したマイクロチップ電気泳動における新規オンライン濃縮電気泳動法の開発
2011	2	吉川 豊	京都薬大・代謝分析学分野	糖尿病克服を目指した新規Zn錯体の開発研究～配位元素置換による構造活性相関～
2011	3	今村 大輔	摂南大薬・微生物学研究室	枯草菌胞子における未知の最外層の発見とその解析
2011	3	岡田 欣晃	阪大院薬・生命情報解析学分野	DNAメチル化によるRobo4遺伝子の組織特異的発現の制御
2011	3	土屋 創健	京大院薬・ナノバイオ医薬創成科学講座	食道扁平上皮癌におけるFGFRL1の発現抑制を介したmicroRNA-210の細胞増殖抑制機構

関西支部奨励賞

2011	3	土谷 博之	京都薬大・薬品物理化学分野	レチノイドシグナルを介したレプチン依存的インスリン抵抗性改善メカニズムの解析
2011	3	山崎 大樹	京大院薬・生体分子認識学分野	TRIC-Aチャネルは血管平滑筋において血圧調節に寄与する
2011	3	渡利 彰浩	阪大院薬・生体機能分子化学分野	原がん遺伝子の機能進化から探る新たながん化メカニズムの解析
2011	4	片岡 誠	摂南大薬・薬剤学研究室	薬物動態研究への分子イメージング技術の利用—PETを用いた経口吸収過程の解析—
2011	4	高橋 有己	京大院薬・病態情報薬学分野	細胞表面接着型インターフェロンを利用した標的特異的作用型遺伝子治療システムの開発
2011	4	松尾 一彦	阪大院薬・薬剤学分野	感染症予防対策に資する経皮ワクチン製剤（貼るワクチン）の開発
2011	4	米澤 淳	京大病院薬	白金系抗がん剤の腎毒性発現における有機カチオントランスポータの役割
2010	1	沖津 貴志	神戸薬大・生命有機化学研究室	酸化芳香化の制御を機軸とするヨード環化反応の開発
2010	1	小林 祐輔	武庫川女大薬・薬化学II講座	シアノ基の特性を利用した含窒素複素環の効率的な構築法の開発と天然物合成への応用
2010	1	森本 功治	立命館大薬・精密合成化学研究室	遷移金属触媒を用いないヘテロ芳香族化合物のクロスカップリング反応の開発 —ヘテロ芳香族ヨードニウム中間体の反応性の解明—
2010	2	島本 茂	阪大院薬・高分子化学分野	リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の酵素反応機構の解明
2010	3	石本 憲司	阪大院薬・生命情報解析学分野	脂質代謝調節因子 Lipin1 遺伝子の発現制御メカニズムの解明
2010	3	笠井 淳司	摂南大薬・薬物治療学研究室	眼内血管新生性疾患におけるアペリンの病態生理学的役割と創薬標的分子としての可能性
2010	3	桜井 晴奈	摂南大薬・生化学研究室	DNAヘリカーゼ RecQ5はショウジョウパエ初期胚での同調性核分裂における染色体分配に関与している
2010	3	白川 久志	京大院薬・生体機能解析学分野	アストロサイト異常活性化における TRPC subfamilyの生理学的重要性
2010	3	高田 宏文	近畿大薬・分子医療・ゲノム創薬学研究室	細胞表面膜蛋白質 Ecm33による細胞増殖シグナル制御メカニズムの解明と <i>in vivo</i> real-time MAPKシグナルモニタリングシステムの確立と応用
2010	3	田代 克久	医薬基盤研・幹細胞制御プロジェクト	幹細胞の分化誘導系におけるアデノウイルスベクターの有用性
2010	3	深田 宗一郎	阪大院薬・細胞生理学分野	骨格筋幹細胞の機能維持にかかわる遺伝子の同定

## 関西支部奨励賞

2010	4	上田 真史	京大病院・放射線部	高精度核医学分子イメージングのための放射性プローブの体内動態の化学制御法の開発:腫瘍低酸素領域のプレターゲット PETイメージング法
2010	4	高橋 梓	阪大院薬・生体機能分子化学分野	Claudinを標的とした非侵襲性投与技術の開発